

令和6年度 学校評価・項目別自己評価表

各項目の評価方法

小項目ごとに4(適切)、3(ほぼ適切)、2(やや不適切)、1(不適切)の4段階で評価を行う。

4(適切):エビデンスが十分で、第三者から見ても適切と判断できる

3(ほぼ適切):エビデンスがやや不足しているが、基本的に適切

2(やや不適切):取り組みはあるがエビデンスがない

1(不適切):取り組み自体がない

2-4. 各項目のポイントと自己点検・評価のエビデンス例

1 教育理念・目標				カテゴリー	評価				エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	④	3	2	1	寄附行為又は定款、学則その他教育上の目的を定めた規程、HP、学生便覧(STEP)
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	④	3	2	1	学校・学科（理念・目的）を紹介するパンフレット、HP、学生便覧(STEP)
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	学生便覧(STEP)、HP
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1	HP、パンフレット、募集要項
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	④	3	2	1	HP、学生便覧(STEP)、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか （学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録、就職担当者の報告書、学校関係者評価委員会議事録、HP
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	学生便覧(STEP)、HP、シラバス

令和6年度の自己評価：

学校の教育理念や目的、育てたい人物像について、学生便覧やホームページなどを通じて内外に伝えてきた。教職員や学生に対しても、行事などの機会を使って意識づけを行っている。学科ごとの教育目標も、業界の動きにあわせて定期的に見直しており、特にAIなど新しい技術の広がりをふまえて検討が進んでいる。今後は、教育目標の内容をさらに具体的にし、教職員が実際の授業でどう実現するかを考えやすくする工夫が必要と考えている。また、教員が新しい知識を得られるよう、研修の内容や回数を見直しも行っていく。こうした取り組みによって、社会で必要とされる人材を育てるという学校の役わりを、しっかり果たしていきたい。

2 学校運営				カテゴリー	評価				エビデンス例
--------	--	--	--	-------	----	--	--	--	--------

2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	学校・部門の運営方針を示す資料、理事会議事録
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	④	3	2	1	寄附行為又は定款、その他教学運営等の教職協働の取組事例の資料
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	④	3	2	1	事業計画書、理事会・評議員会の議事録
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間行事予定表、学則等（授業期間）
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	理事会会議規則、学校の運営規程等、理事会・評議員会の議事録、法人の理事・評議員会名簿（役職・氏名・所属先等の明示）
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	組織規程、決済規程、起案書、内部規程類
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	組織図、校務分掌表
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に行われているか	B	④	3	2	1	年間行事予定表、教職員会議議事録
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿、勤務予定表、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	教職員健康診断の案内、教職員健康診断実施記録。就業規則、特定健康診査結果一覧
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	施設設備保守・管理点検表
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	教職員名簿、実務経験者一覧

2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	④	3	2	1	HP、求人申込書、求人広告の記録（新聞・求人サイト）、教育訓練の記録、研修計画、求人票
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	③	2	1	授業アンケート
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	講師会議事録、教員組織図。改善・向上に向けた取組が分かる資料
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	④	3	2	1	研修報告書、実施体制、実施状況（参加率含む）が分かる資料
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	④	3	2	1	研修報告書
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	講師交流会資料
2	4	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	教員の研修計画・研修報告書
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	④	3	2	1	教員・講師の研修計画書
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	④	3	2	1	教職員ミーティング、教務記録
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	就業規則
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	給与規程・退職給与規程・旅費規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	給与規程
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	

2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか （情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	④	3	2	1	導入されている情報システムの概要を示す資料、円滑な情報システムの運営に係る組織体制を示す資料・情報システム化に伴う教育活動の効率化や効果を示す資料

令和6年度の自己評価：

教育理念にそった運営方針を決め、それをもとに事業計画や組織づくりを行っている。運営に関わる会議やルールも整っており、教職員どうしの情報共有ができるよう、会議を定期的に開いている。運営をスムーズに進めるため、事業計画は毎年見直し、学校全体のスケジュールとも合わせて動けるように工夫している。今後は、各部門の連携をもっと深めていくとともに、運営方針についての理解が教職員全体に広がるよう、伝え方の工夫や確認の機会をふやしたい。学務統合情報システムを導入して1年目だが、データ保存には適しているが校務分掌や業務効率化にはなかなか至っていない。学校独自仕様へのカスタマイズや他のシステムへの移行なども含めて今後も検討する。また、教職員採用についても将来を見据えて新卒採用や卒業生への声掛けなどを積極的に行っていく。

3 教育活動				カテゴリー	評価				エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	③	2	1	HP、学生便覧(STEP)、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	カリキュラム、シラバス
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	③	2	1	HP、学生便覧(STEP)、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	カリキュラム、シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	シラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	④	3	2	1	HP、シラバス、講義概要、学生便覧(STEP)
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	4	③	2	1	成績評価基準に関する教員間の申し合わせやその運用事実が分かる資料

3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	授業評価チェックシート、授業アンケート評価報告書
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	③	2	1	授業評価チェックシート、授業アンケート評価報告書
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	③	2	1	授業評価チェックシート、授業アンケート評価報告書
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程科目のシラバス、教育課程編成委員会議事録
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会資料、企業との協定書、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録、教育課程編成委員会資料
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	④	3	2	1	シラバス、企業実習報告会資料、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	成績評価に関する規程、学生便覧（STEP）、進級基準・卒業基準、判定会議議事録
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	成績評価に関する規程、授業科目履修規程、学生便覧、進級基準・卒業基準。保護者説明会資料
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	成績評価規定、シラバス、判定会議資料、成績通知書、成績証明書
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	成績評価規程、シラバス、教育課程編成委員会議事録
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	学生便覧(STEP)、検定試験一覧、シラバス、成績証明書
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	企業との協定書、シラバス、教育課程編成委員会議事録

令和6年度の自己評価：

教育目標や育てたい人材像に合わせてカリキュラムを構成し、社会のニーズに応じた授業ができるように心がけている。達成目標を事前に学生に伝えることで学びの効果も高まっている。カリキュラムの作成には教育課程編成委員会等において外部の意見も取り入れており、実社会とのつながりを意識している。今後は、より実践的で柔軟な学びの場をつくるために、オンラインや対面を組み合わせた授業づくり、カリキュラム全体の定期的な見直し、客観的評価体制の整備にも力を入れていきたい。

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	評価				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	④	3	2	1	修了試験成績一覧、期末試験成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	④	3	2	1	成績評価基準、成績評価方法、科目シラバス
4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	④	3	2	1	就職関連指導シラバス、就職実績報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	事業計画書 会議資料
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	就職活動報告書、就職実績一覧表
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	④	3	2	1	パンフレット、HP
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	③	2	1	資格試験結果報告書、資格・検定試験取得率の履歴
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	目標資格・検定一覧
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	教職員全体会議資料
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	検定試験結果報告書
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	4	3	②	1	パンフレット、HP
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						

4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	③	2	1	卒業生調査・企業アンケート、企業等訪問記録、就職担当者訪問記録等
---	---	---	--	---	---	---	---	---	----------------------------------

令和6年度の自己評価：

学修成果については、成績評価の基準や進級・卒業のルールをきちんと定め、それを学生や保護者にもわかりやすく伝えるようにしている。令和6年度は、2学期制への変更にともない、カリキュラムや評価方法の見直しも行った。資格取得については、試験内容に合わせた補講や指導を行い、合格率の向上につなげている。就職支援においては、新卒求人検索システムが非常に有効稼働しており、学生の就職意識向上や就職課・教務・学生間意思疎通に役立っている。また、卒業生の進路や在校生の成果もふまえ、学校としての教育の方向を見直すようにしている。今後は、学びの成果がより分かりやすく可視化されるよう、学生の成長を後押しする評価方法を工夫していきたい。

5 学生支援				カテゴリー	評価				エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	④	3	2	1	学生調査書、指導履歴に関する個別資料、奨学金受給学生に関する成績資料等
5	2	中項目	就職等進路指導（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	A	④	3	2	1	学生便覧(STEP)、オリエンテーション・保護者会資料
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	④	3	2	1	学生便覧(STEP)、各種相談窓口の案内パンフレットやチラシ等
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	各担任による個別の面談シートや面談記録等
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	募集要項、奨学金説明会資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	④	3	2	1	健康診断案内、年間行事予定表、外部の健康相談窓口の案内
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	④	3	2	1	募集要項、不動産情報チラシ
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						

5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	④	3	2	1	退学防止の取り組み記録、退学状況の分析と対策記録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	③	2	1	事業計画書
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	教務会議資料
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	HP、職業実践専門課程別紙様式 4
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	④	3	2	1	保護者面談記録、保護者会報告書
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	④	3	2	1	保護者面談案内、保護者会報告書
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	③	2	1	同窓会会則、就職あっせん記録、相談窓口
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP

令和6年度の自己評価：

学生生活を支えるため、担任が中心になって日々の学習や生活の相談に応じており、就職課や事務局につなぐ体制も整えるようにしている。経済的支援としては、奨学金制度の案内をはじめ、学生一人ひとりの状況に合わせた支援が行えた。また、退学を防ぐための対策や、保証人（保護者）との連携も保護者会や電話連絡・面談などで進めており、安心して通える環境づくりを大切にしている。

今後は、国の制度改正への対応も求められ、情報共有の仕組みや支援の方法をさらに改善していきたい。また、卒業生の動向を把握するため、同窓会とも協力して定期的な意見交換を行いたい。

6 教育環境				カテゴリー	評価				エビデンス例
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	③	2	1	資産目録
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	各種設備・教育備品の一覧表及び点検票
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	掲示物、学生便覧
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	③	2	1	

6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	施設・設備の点検、補修計画書、点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書、電気設備定期点検報告書
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	学外実習時の実施要綱・マニュアル
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	学生便覧(STEP)
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	危機管理マニュアル、気象警報による休講等の取扱いガイドライン
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	防災訓練実施要項、防災訓練実施報告書
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	④	3	2	1	設備管理者の一覧表、各種設備の定期点検票、危機管理マニュアル

令和6年度の自己評価：

学生が安心して学べる環境づくりに力を入れてきた。教室や演習室などの施設は、人数や授業内容に合わせて配置を見直し、必要な機材も定期的に整備している。また、清掃業者による校内の定期的な清掃のほか、各クラス学生が当番で毎日清掃を行っている。また、参考・関連図書の整備を補うため、全学生がいつでも視聴できるオンデマンド学習サービス「Udemy business」を取り入れた。今後は、設備の老朽化や学生数の変動に応じた対応をしながら、快適で安心できる学修空間を整えていきたいと考えている。

7 学生の受入れ募集				カテゴリー	評価				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	日報、パンフレット、OC 用説明資料、募集要項、学校案内、HP
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	パンフレット、募集要項、HP
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	パンフレット、HP

8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	個人情報保護規程
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	③	2	1	個人情報保護規程
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	B	④	3	2	1	教員研修資料、講師交流会資料
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	自己点検・評価委員会、組織図、校務分掌表
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録、委員会名簿
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	教職員会議議事録
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1	卒業生就業状況調査報告書
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	改善計画書
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	改善報告書
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	改善計画書
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	改善報告書
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書、HP
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	学校関係者評価報告書、HP

令和6年度の自己評価：

情報管理システムを導入してデータの集約などは進んでいるが、一元化したデータの活用方法がまだ確立しておらず、うまく運用できていないのが現状である。継続して改善と利活用を並行して行っていく、煩雑な業務を整理し、効率化を図っていく。教育に関する情報はホームページなどで公開し、透明性のある運営を心がけている。ただ、評価結果をどう改善につなげるかという点では、まだ課題が残っている。今後は、評価内容の理解を教職員全体で深め、改善計画をより実行力のあるものにしていくことが大切だと考えている。さらに、卒業生の進路や学びの成果を振り返ることで、教育活動の質をよりよくしていきたい。

9 財務				カテゴリー	評価				エビデンス例
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	③	2	1	全体予算書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	収支計画書、月次予算チェック表
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	財務諸表、HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	④	3	2	1	HP

令和6年度の自己評価：

今年度も財政基盤は安定しており、設備投資なども行えているが、今後の少子化による学生数減少なども考慮し、より一層の財政基盤の安定化を図っていく。また、会計システムを導入したことにより、事務作業の効率化と財務状況の把握ができるようになり、リアルタイムでの改善が可能となった。中長期的な計画も含め、今後の財政基盤の安定に向け取り組んでいく。